



宮崎県日南市大島で新種の造礁サンゴの
ヘンゲカメノコキクメイシ *Paragoniastrea variabilis* を発見

ポイント

- 宮崎県日南市大島で、造礁サンゴのウネカメノコキクメイシ属 *Paragoniastrea* の新種を発見
- この新種は、これまでミダレカメノコキクメイシ *Paragoniastrea deformis* の形態変異の一つだと考えられていたが、今回の研究で別種であることが判明したため、ヘンゲカメノコキクメイシ *Paragoniastrea variabilis* として報告

【概要】

岸大悟氏（宮崎大学大学院農学研究科修士課程2年）、深見裕伸教授（宮崎大学農学部海洋生物環境学科）、野村恵一氏（鏑浦海中公園研究所）、野澤洋耕教授（琉球大学熱帯生物圏研究センター）、新垣誠司准教授（九州大学理学部附属天草臨海実験所）の研究グループは、宮崎県日南市大島を中心に、九州各地、和歌山県および台湾北部に生息する造礁性イシサンゴのミダレカメノコキクメイシとその形態変異について、分子系統学および形態分類学的な調査を行った。その結果、これまでミダレカメノコキクメイシの形態多型の一つと考えられていたものが新種であることが判明した。

この新種は、ミダレカメノコキクメイシと極めて類似しているが個体間の溝の有無や個体の大きさなどで区別できる。日本では宮崎県日南市大島の他、延岡市島浦島、熊本県天草市牛深、長崎県長崎市高島、和歌山県白浜・串本、さらに台湾北部でも生息していることが確認できた。

【背景】

宮崎県日南市大島や延岡市島浦島周辺の海域は、造礁性イシサンゴ類が多く生息しているが、サンゴ礁地形が発達しない非サンゴ礁域（九州～千葉の暖流域沿岸）に位置する。

ミダレカメノコキクメイシはこの日本の非サンゴ礁域に特異的に生息している種として報告されているが、これまでミダレカメノコキクメイシには形態変異があることが知られていた。そこで、岸大悟修士課程学生が中心となり、ミダレカメノコキクメイシとその形態変異について、分子系統解析と詳細な形態観察を行った。

【成果】

本研究の結果、我々の研究グループはミダレカメノコキクメイシの形態変異とされていたサンゴをウネカメノコキクメイシ属の新種（図1）として記載するに至った。この種は分子系統学的にミダレカメノコキクメイシとは区別でき、形態的にもミダレカメノコキクメイシに特徴的な個体間の溝がないことや個体が大ききことなどで明確に区別することができた。この種は宮崎県の日南市や延岡市に加え、熊本県、長崎県、和歌山県、さらには台湾の北部地域でも確認することができた。一方、奄美大島や沖縄県では発見されていない。このことから、この新種は日本の九州以北と台湾北部の非サンゴ礁域に特有の種であると考えられる。この種は生きているときに赤色や茶色、緑色といった様々な色を有しており（図2）、新種記載より前にヘンゲカメノコキクメイシという和名が提唱されていた。そのため、今回の新種記載では、ヘンゲカメノコキクメイシの和名をそのまま使用し、学名には変異が大きいという意味で *Paragoniastrea variabilis* と記載した。

【展望】

今回の研究成果は、日本の九州以北の非サンゴ礁域には貴重で珍しい造礁サンゴが生息していることを証明するものである。また、宮崎県でのサンゴ研究が日本の温帯域に生息するサンゴの貴重性の発信元となることで、宮崎県や他の日本の非サンゴ礁域の海域の今後の環境保全を考えていく上でも重要な発見であると言える。

本研究成果は、2024年6月25日に国際学術雑誌「Zookeys」のオンライン版で公開中。

<https://zookeys.pensoft.net/article/121507/>

【論文情報】

Kishi D, Nomura K, Nozawa Y, Arakaki S, Fukami H (2024) *Paragoniastrea variabilis* Kishi, Nomura & Fukami, sp. nov. (Cnidaria, Anthozoa, Scleractinia), a new coral species previously considered as a variant of *Paragoniastrea deformis*, from Japan and northern Taiwan. ZooKeys 1205: 205–222. <https://doi.org/10.3897/zookeys.1205.121507>

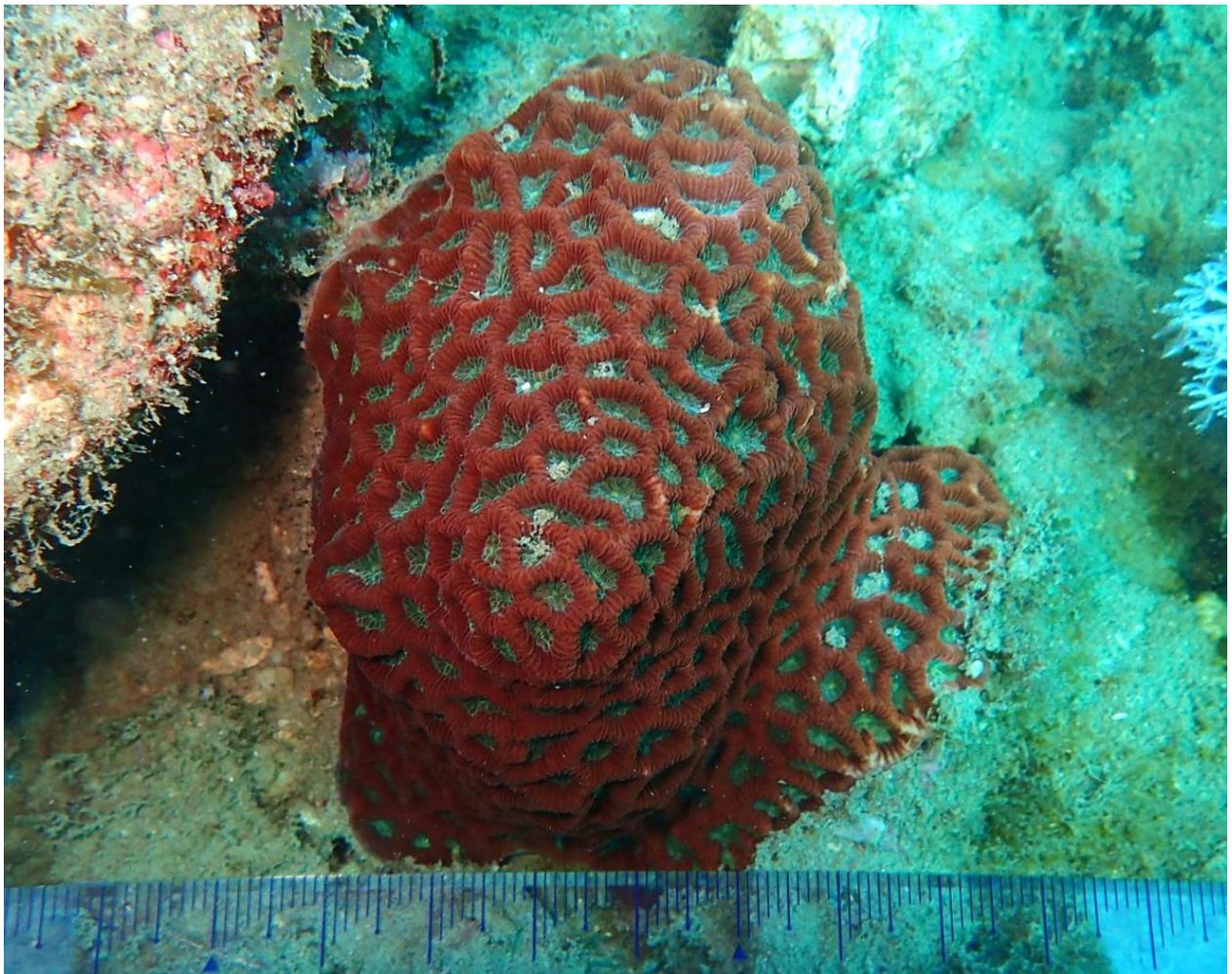


図1. ヘンゲカメノコキクメイシ *Paragoniastrea variabilis*。宮崎県日南市大島周辺で撮影。この写真のサンゴの標本が今回の新種記載の基となる。水深 8.9 m

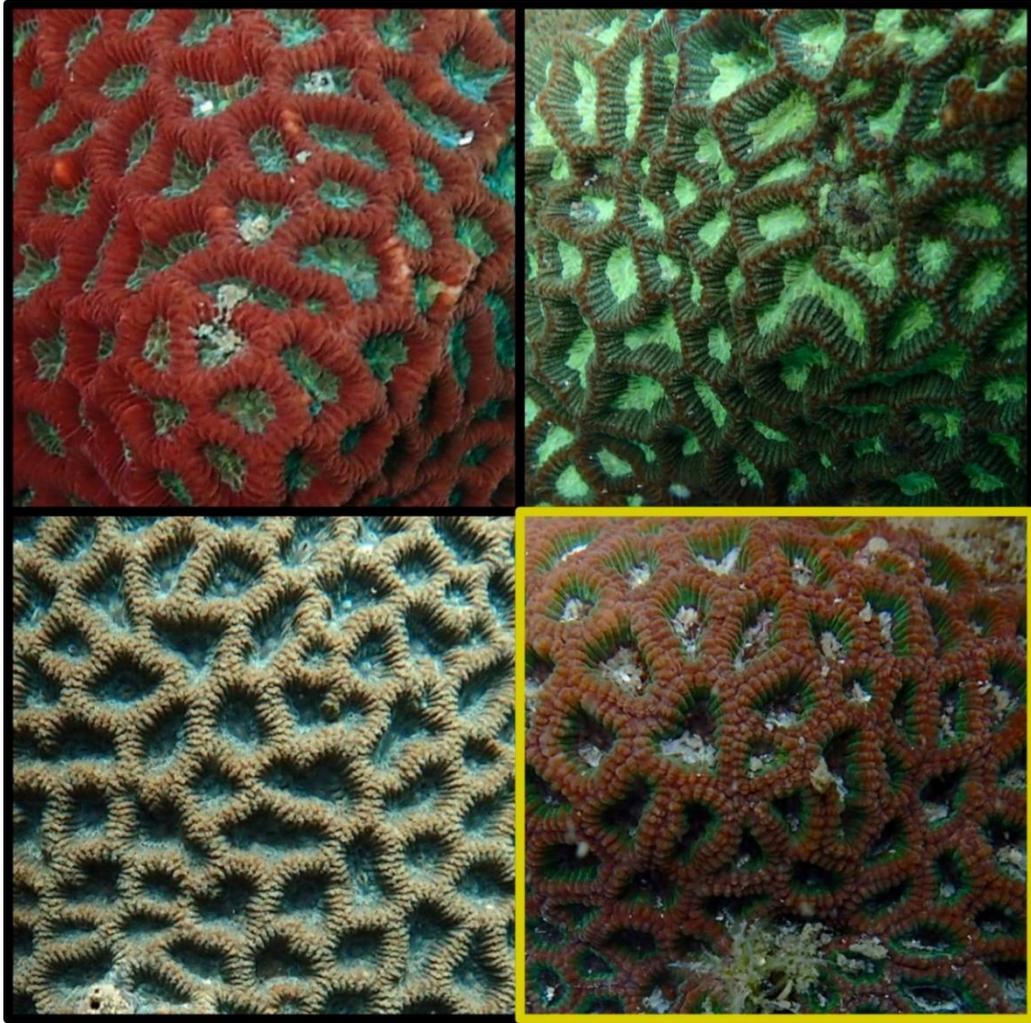


図 2. ヘンゲカメノコキクメイシ *Paragoniastrea variabilis* (黒枠) の多様な色彩とミダレカメノコキクメイシ *Paragoniastrea deformis*(黄枠)。

【取材に関する問合せ先】

宮崎大学 企画総務部総務広報課

TEL:0985-58-7114 e-mail:kouhou@of.miyazaki-u.ac.jp

九州大学 広報課

TEL:092-802-2130 e-mail:koho@jimu.kyushu-u.ac.jp

【研究に関する問合せ先】

宮崎大学 農学部海洋生物環境学科 教授 深見裕伸

TEL:0985-58-7221 e-mail:hirofukami@cc.miyazaki-u.ac.jp

宮崎大学 大学院農学研究科 修士課程 2年 岸 大悟

e-mail:ad22011@student.miyazaki-u.ac.jp

九州大学理学部附属天草臨海実験所 准教授 新垣誠司

TEL:0969-35-0003 e-mail:arakaki@amb1-ku.jp